

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜松聾学校PTA
学 校 名	静岡県立浜松聴覚特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	43人

1. 使用状況

寄贈物品名	スタンドブロック
使用学年及び人数	幼稚部8人
使用頻度	あそびの内容でほぼ毎日
使用状況	<p>げきあそびやごっこあそびの際に、背景を固定するのに使っています。簡単に立ちますし、持ち運びも簡単で役立っています。</p> <p>写真は、「ヘンゼルとグレーテル」のげきあそびをやったときに、お菓子の家を固定したときのものです。場面転換のときも、すぐに動かせるので重宝しました。教室でも、しきりを立てる際に使ったり、ごっこあそびの空間を分けるのに使ったりしています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>軽くてコンパクトなことで、素材が柔らかいので、子どもたちが自分で動かせて扱いやすいです。また、使い方が分かってきて、自分から強く挿そうとしたり、数を増やそうとしたりする姿が見られるようになりました。自分で持ってきて設置できるので、創造性が膨らんでいます。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後も同様に使っていきたいと考えています。子どもたちのあそびがさらに充実するように、教員側も工夫していきたいです。</p>
その他希望や所感など	<p>このような事業を続けていただきとてもありがたいです。学校予算が削減されていく中ですので、とても貴重で今後も子どもたちのあそびが充実するよう希望を出させていただきたいと考えています。よろしくお願いたします。</p>

2. 活用の様子



ヘンゼルとグレーテルのお菓子の家を立たせるために使いました。お菓子を引っ張っても倒れることはありませんし、そのあとの移動もとてもスムーズでした。